

香取市農業集落排水処理施設における脱水汚泥等の放射性物質の測定結果について

香取市建設水道部 下水道課

◆測定結果

浄化施設名 (所在地) 【肥料名】 〈試料採取状態〉	試料採取日	試料名	測定値(ベクレル/kg)			
			放射性 ヨウ素 131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137	放射性 セシウム 合計
香北地区浄化施設 (香取市三島) 【農村おでいコンポ】 〈バラ状態〉	R8.5.1	肥料	不検出 (14.6)	不検出 (14.7)	26.0 (12.6)	26.0 -

※ 不検出とは、各放射性物質の検出限界値未満を意味します。()内の数値は各物質の検出限界値です。

◆現在の状況と今後の対応

- ・各地区(香北、阿玉台久保、岡飯田、白井山川、八本、黒部川右岸、新福寺)から排出される脱水汚泥を、農村おでいコンポ肥料の原料汚泥としています。
- ・肥料、土壌改良資材、培土中の放射性セシウム合計の暫定許容値は 400ベクレル/kg(製品重量)です。

◆検査機関

- ・放射性物質は、外部委託(株式会社江東微生物研究所)により測定しています。
- ・検出限界濃度は測定時間や試料の量などによって変化し、一般的には測定時間が長ければ長いほど、試料の量が多ければ多いほど、小さい値になります。